

もくじ

もくじ	1	揺れやすさマップ	12
5段階の警戒レベル	2	火山対策(那須岳)	13~14
避難行動判定フロー	3	過去の災害	15
マイ・タイムライン	4	地域ぐるみで防災に取り組もう	16
災害時の情報伝達	5	避難について	17
災害の「備え」チェックリスト	6	ハザード情報について	18
風水害対策	7	避難所一覧	19
土砂災害対策	8	全体索引 図/避難所と避難場所の違い	20
火災対策	9	詳細図1~18	21~55
雪害対策	10	ダム・ため池ハザードマップ	56~58
地震がおきたら	11	わが家の「緊急・救急情報」防災メモ	裏表紙

本書の活用方法について

- 住んでいる場所と予想される危険箇所を地図上で確認しましょう
- 避難先を確認しましょう
- 避難経路を考えてみましょう
- 家族や周辺住民と情報を共有しましょう



家族みんなで防災会議

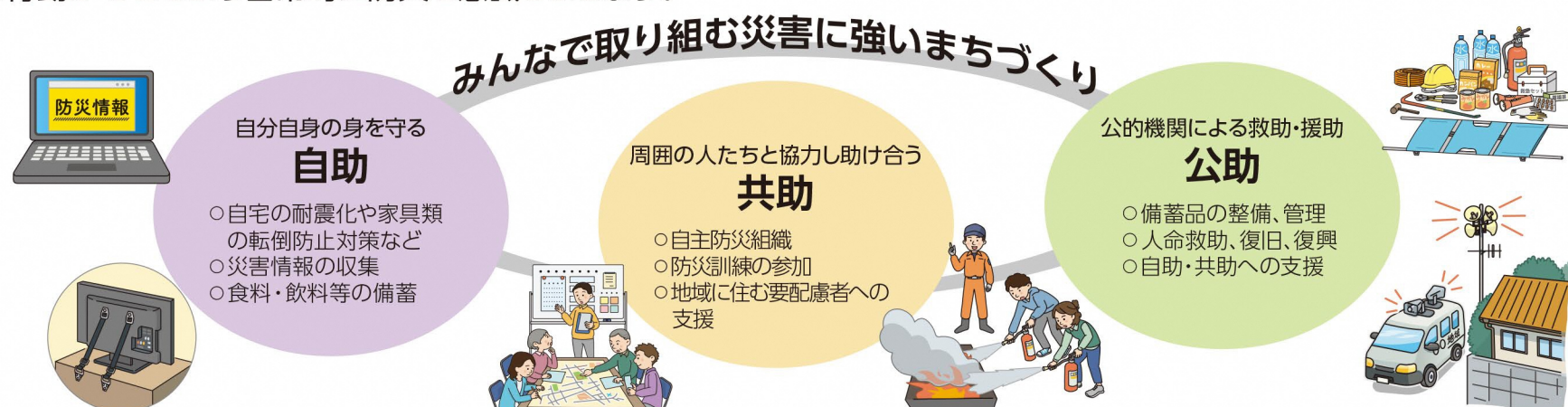
災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときにあわてず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- 家具の置き方、工夫していますか？
- 食料・飲料などの備蓄、十分ですか？
- 非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？
- 安否確認方法、決まっていますか？
- 避難先や避難経路、確認していますか？
- 関連お役立ちサイト、把握していますか？
- もしものときの情報収集、していますか？



地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風などの自然災害による被害は、わたしたちの日ごろの努力によって減らすことが可能です。行政による「公助」はいうまでもありませんが、自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人どうしが助け合う「共助」こそが、災害による被害を少なくするための大きな力となります。ただし、身のまわりの人を助けるには、まず自分自身が無事であればなりません。「自助」があつての「共助」です。災害が起こってからでは間に合いません。いざというときに備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



5段階の警戒レベル

避難情報など (警戒レベル)			防災気象情報 (警戒レベル相当情報)			
警戒レベル 状況	住民がとるべき行動	避難情報	警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害
5 災害発生 または切迫	命の危険 直ちに 安全確保！	緊急安全 確保	5 相当	氾濫 特別警報	大雨 特別警報	土砂災害 特別警報
~~~~~警戒レベル4までに必ず避難！~~~~~						
<b>4</b> 災害の おそれ高い	<b>危険な場所から 全員避難</b>	<b>避難指示</b>	<b>4</b> 相当	<b>氾濫 危険警報</b>	<b>大雨 危険警報</b>	<b>土砂災害 危険警報</b>
<b>3</b> 災害の おそれあり	<b>危険な場所から 高齢者等は避難</b>	<b>高齢者等 避難</b>	<b>3</b> 相当	<b>氾濫警報</b>	<b>大雨警報</b>	<b>土砂災害 警報</b>
<b>2</b> 気象状況 悪化	<b>自らの避難 行動を確認</b>	—	<b>2</b>	<b>氾濫 注意報</b>	<b>大雨 注意報</b>	<b>土砂災害 注意報</b>
<b>1</b> 今後気象状況 悪化のおそれ	<b>災害への 心構えを 高める</b>	—	<b>1</b>	<b>早期注意情報</b>		

那須町長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報など(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しないことがあります。

※河川水位や雨の情報は、令和7年11月に閣議決定し、令和7年12月に気象庁が発表した内容です。令和8年5月下旬(予定)から上図のとおり新たな防災気象情報の運用を開始します。

避難に時間のかかる**高齢者や障がいのある人等**は、

**警戒レベル3 高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。



**警戒レベル4 避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。



**警戒レベル5 緊急安全確保**は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**自宅の上の階や崖から離れた部屋に移動**しましょう。

